



社会福祉法人 広島県同胞援護財団
 障害者支援施設 西志和農園
 〒739-0267
 広島県東広島市志和町別府
 10184-29
 TEL 082-433-2220
 FAX 082-433-2221
 HP アドレス
<http://www.dohen.or.jp/intr/o/handicaped/nishishiwa01/>

施設長挨拶

拝啓 盛夏の候、皆さまにおかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より当施設の運営に格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、私こと伊達清宜は、このたび令和七年六月二十五日をもちまして、社会福祉法人広島県同胞援護財団の理事長を拝命いたしました。二〇一九年に他サービスから西志和農園へ異動してきて以来、未経験ながらも多くの皆さまに支えていただき、充実した六年間を過ごすことができました。心より感謝申し上げます。

今後は理事長という新たな立場で、これまで以上に現場の声を耳を傾けながら、西志和農園を含む法人全体のより良い運営に努めてまいります。

なお、後任の施設長には大田黒繁が就任いたしました。大田黒新施設長のもと、引き続きサービスの質の向上を目指してまいりますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

続きまして、新施設長よりご挨拶申し上げます。

このたび西志和農園の施設長を拝命いたしました。大田黒繁と申します。本年四月に創立七十周年を迎えた当園は、「笑顔」と「あしがら」があふれる温かな風土のもと、長年にわたり多くのご利用者や先人たちによって築かれてまいりました。この伝統を大切にしながら、ご利用者一人ひとりが安心して過ごせる環境づくりに取り組んでまいります。

また、「家族・地域の皆さま、関係機関との連携をさらに深め、信頼される施設づくりを職員一同とともに進めてまいります。

今後とも変わらぬご厚情を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具



前施設長



新施設長

前施設長 伊達清宜
 施設長 大田黒繁

新たなグループホーム 整備に向けて

このたび当法人は、広島県より「日中サービス支援型グループホーム」の建設にかかる補助金交付の内示を受けました。これにより、障がいのある方々の地域生活を支える新たな一歩が本格的に始まります。

グループホームは、障がいのある方が地域の中で安心して暮らし続けるために欠かせない支援の場ですが、近年は利用者数の増加に加え、障がいの重度化や高齢化といった課題も顕在化しています。中でも、日中も常時支援が必要な方を受け入れる「日中サービス支援型グループホーム」は、全国的に不足しており、その整備が急がれています。

当法人が運営する障害者支援施設「西志和農園」での経験とノウハウを活かし、地域の新たな福祉ニーズに応えることは、私たちに課せられた使命であると考えています。

今回整備を予定しているのは、定員十名×2ユニットの平屋建てグループホームです。重度の障がいや高齢の方々にも配慮したバリアフリー設計とし、日中も含めてきめ細やかな支援が提供できる体制を整えます。これにより、年齢や障がいの程度にかかわらず、住み慣れた地域で暮らし続けられる環境づくりを進めていきます。

建設予定地については、すでに地域の皆様のご理解を得ており、防災機能を持った地域の拠点としての役割も期待されています。令和七年度中の早期整備に向けて準備を進めており、県・市とも連携しながら着実に事業を推進してまいります。

今後、地域とともに歩む社会福祉法人として、誰もが安心して暮らせるまちづくりに貢献してまいります。皆様の変わらぬご支援とご理解を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人

広島県同胞援護財団
 理事長 伊達清宜



2025年5月 造成完成



グループホーム 建設予定地

カレンス コレクション

四月某日、西志和農園とグループホームのご利用者の皆さんが、志和町内にある「カレンスくらた」様を訪れ、ファッションショーにモデルとして出演されました。

今回はお買い物ではなく、同店舗とのコラボレーションイベント「カレンスコレクション」への参加が目的です。

出演に向けて、ご利用者の皆さんは約一か月前から準備をスタート。衣装は自身で選び、ポージングの練習にも日々熱心に取り組まれていました。

「ちゃんと歩けるかな」「うまく笑えるかな」と緊張も見られましたが、期待に胸をふくらませながら当日を迎えました。

イベント当日は、地域の皆さまが見守る中、レッドカーペットの上を一人ひとり堂々とウォーキング。笑顔で手を振ったり、くるりと回ってポーズを決めたりと、それぞれが練習の成果を存分に発揮されました。いつもとは少し違う表情に、会場からは大きな拍手が送られ、和やかに華やかな時間が流れました。

ショーを終えたご利用者の皆さんからは、「緊張したけれど楽しかった！」「こんなにしっかりとメイクをしてもらえたのは初めて。とても嬉しかった」といった感想が聞かれ、満足感あふれるひとときとなりました。

なお、この日の様子はウェブニュースでも取り上げられています。ご興味を持っていただければ「カレンスコレクション」で検索して、ぜひご覧ください。

支援員 出本 誠



中部地区 親善球技大会

六月五日木曜日、尾道ござがなくんスポーツパークびんごにて「中部地区親善球技大会」が開催されました。

例年使用されている東広島運動公園が今年度いっぱい改装工事で使用できないため、今年度は初めて尾道での開催となりました。

当日は、西志和農園から二十五名の皆さんが参加され、グラウンドゴルフ、ポッチャ、フライングディスクの三種目に分かれて競技に臨まれました。競技中は、施設内とはまた違った真剣な表情でそれぞれが集中して取り組んでおられました。

参加された皆さんからは、「楽しかった」「勝って嬉しかった」といった感想が寄せられ、普段とは異なる環境での大会を存分に楽しんでおられました。

本大会では、西志和農園のご利用者の方が、グラウンドゴルフ団体で三位、女性個人で一位および三位、さらにポッチャの二人制において二位という素晴らしい成績を収められました。なお、惜しくも表彰に至らなかった方々も、当日まで意欲的に練習に取り組み、全力で競技に臨まれていました。

何より皆さんが大きな事故や怪我もなく、無事に大会を終えることができたことを嬉しく思います。次回は十月に中部地区親善運動会の開催が予定されています。また皆さんが安心して楽しく参加ができるよう、職員一同力を合わせて準備をすすめていきたいと思っております。

支援員 石本 龍輝



春の陽気に包まれた5月某日、「農園まつり」を開催いたしました。「」数年はご利用者様と職員のみでおこなっておりましたが、今年度は数年ぶりに保護者の皆様をお招きし、笑顔あふれる一日となりました。

屋外での開会式では、通所ご利用者の方と職員による和太鼓演奏が力強く響き渡り、祭りの幕が華やかに上がりました。昼食には初の試みとしてキッチンカーが登場。カレーやうどん、たいやきなどに加え、職員によるわたがしの提供もあり、まるで屋台のようなにぎわいに。参加された皆さんからは「楽しかった」「どれも美味しかった」との声が聞かれました。

午後は地域交流広場にて日中活動の発表会を開催。「大きな力ブ」の劇や歌、ダンス、ファッションショーなど多彩なプログラムが披露され、会場は温かな拍手と笑顔に包まれました。

天候にも恵まれ、事故もなく無事に終わることができた本年度の農園まつり。ご家族の皆様からは「久しぶりに一緒に過ごせて嬉しかった」とのお声もいただき、職員一同、開催できた喜びをかみしめております。

来年度も、より多くの方々に楽しんでいただけるよう準備を進めてまいります。

支援員 岡本 真実

新しい職員の紹介

中途採用職員



【職名】生活支援員 兼 調理員
こだま たえこ
児玉 多恵子

【一言】数年ぶりに復帰させていただき、ご利用者様の顔を拝見し懐かしく思います。よろしくお願いします。
趣味 ドライブ、写真

中途採用職員



【職名】調理員
かねだ すずみ
兼田 鈴美

【一言】ご利用者様に美味しく安全な食事を提供し、笑顔で過ごしてもらうことを目指したいと思います。
趣味 ショッピング、孫と遊ぶこと

異動職員(子供の家三美園より)



【職名】生活支援員
にしやま ゆいな
西山 友衣奈

【一言】ご利用者様の方の顔を見て、毎日元気に挨拶します。
趣味 ライブ鑑賞、旅行



キッチンカーと2ショット



うどんおいしい～



苦情結果報告

令和七年五月

令和七年六月

苦情件数 0件

西志和農園ブログ

日々の生活の様子や行事などについて、更新をしています。是非ご覧ください！

